

概要



- 富浦漁港においては、従前より新鮮な漁獲物を首都圏に提供し、また、来訪者にそれらを提供する漁協直営食堂や直売所を出店することで、魚食普及や漁業者の収益向上を図り、地域振興や観光振興に大きく貢献してきた。
- しかし、近年では漁民の減少と高齢化が顕著であり、磯焼けの進行などの環境変化に伴う水揚げ減少など漁業生産力がますます低下傾向にある。
- そこで、直営食堂や直売所の新メニュー造成などを通じて更なる経営基盤強化を図り、同時に観光業などとの異業種連携の強化、体験メニューの新規造成などを通じて6次産業化や都市漁村の交流促進を図る。

海業の取組概要

富浦漁港



観光施設等と連携した地引網や海鮮BBQなどの体験メニューの造成や教育旅行の誘致



ストック機能を持った釣堀生簀や釣り筏の設置、サブやウインドサーフィンなどのマリレジャーの造成



陸上・海上で養殖事業を展開



直営食堂・直売所の新メニュー造成や受注販売の強化

効果

- ・漁協直営食堂売上向上
83,837千円（R4）→92,220千円（R9）
- ・都市漁村交流人口増加
5,060千人（R4）→5,566千人（R9）

協力体制

岩井富浦漁業協同組合 千葉県漁連
南房総市観光協会 南房総市内房商工会
千葉県 南房総市商工観光部
南房総市農林水産部 他

スケジュール

- 令和7年5月～ 協議会設立
- 令和7年7月～ マスタープラン作成
- 令和7年10月～ 新魚食メニュー開発
- 令和8年4月～ 体験メニュー造成